

お正月の鏡餅
と言えば...

なまはたし!

実は
冬の薬草園には面白
い植物がいっぱい♥

No.53
Jan,17,2013

作製：横浜薬科大学 薬草園・薬用資源学研究室
高取由衣

薬草園だより



←ダイダイ(橙、*Citrus aurantium* var. *daidai*)は、果実を取らずに放置しておく、次の年の果実がなっている、昨年の果実が枝に残ることがあります。それで代々の果実がなるので「ダイダイ」という名になったといわれています。「回青橙(かいせいとう)」の名もあり、冬に濃い橙色になっても収穫せず放置すると春には緑色にも戻ることが由来。鏡餅等の正月の飾りも本来はこのダイダイなんです。

ちょっと青が残ってる



←カンツバキ(寒椿、*Camellia hiemalis*)

我が国の固有種。「サザンカ」の園芸品種とされることもあります。高さは1.5~3mほどになり、11月~2月ごろ、芳香のある花を咲かせます。ふつうには淡い紅色の八重咲きですが、赤色や白色、ピンク色などの一重咲きもあります。別名、「立寒椿」または「獅子頭」ともよばれます。

↑セリ(芹、*Oenanthe javanica*)とはセリ科の多年草です。春の七草の一つである。独特の香りを持ち、春先の若い茎を食用とします。野外で採取する場合、小川のそばや水田周辺の水路沿いなどで見られますが、有毒なドクゼリとの区別に注意が必要です。

マンリョウ(万両、*Ardisia crenata*)→はヤブコウジ科の常緑小低木。林内に生育し、冬に熟す果実が美しいので栽培され、特に名前がめでたいのでセンリョウ(千両)などととも正月の縁起物とされているのです。



~魔法の秘薬マンドラゴラ~

マンドラゴラ(*Mandragora officinarum*)は有名なファンタジー小説、ハリーポッターにも登場する。古くからの伝説によるとマンドラゴラの根は土から出るのを極度に嫌がり、掘り出そうとするとおそろしい悲鳴をあげる、そのためこの魔草の採取には引っ張って抜かせる犬の犠牲が必要だったと伝えられていました。マンドラゴラは地中海地域から中国西部にかけて自生しています。ナス科マンドラゴラ属にぞくしており、根に数種のアルカロイドを含む。麻薬効果もち、古くは鎮痛薬、鎮静薬、瀉下薬として使用されたが、毒性が強く、幻覚、幻聴、嘔吐、瞳孔拡大などを伴い、場合によっては死に至ることがあるため、現在薬用のにされることはほとんどないです。伝説のマンドラゴラの叫びはこの幻聴を指すと思われます。

